

# 日本イエナプラン教育協会



## ニュースレター Vol.7 2011. 5月号

発行元: 日本イエナプラン教育協会

編集: 山崎 那菜

住所: 〒155-0033

東京都世田谷区代田6-3-22-202

TEL: 070-5559-0361 FAX: 03-3466-3439

HP: <http://www.japanjenaplan.org/>

mail: [Info@japanjenaplan.org](mailto:Info@japanjenaplan.org)

5月の風を喜んだのもつかの間、連日の真夏のような暑さに私のノートPCは悲鳴(異音?)を上げています。今月はリヒテルズさんが来日され、関西、九州で講演会が開催されます。残念ながら、震災の影響により、関東講演は延期となりましたが、夏に再度来日される予定ですので、どうぞお楽しみに！  
関西・九州での講演に参加される方は、ぜひご感想をお送りくださいね。 編集(山崎)

### 第7回

#### サークルと遊びの威力——4つの基本活動の中で——

協会代表 リヒテルズ直子

このニュースレターでは、最初に、アナマイケ・ファンハルテンさんの「協働ゲーム」についての記事シリーズ、そして、今、サークル対話についてのイエナプラン教育の考え方についてシリーズで報告しています。

イエナプラン教育は、4つの活動のリズミクな交換によって時間割が作られていることはみなさんも良くご存知のとおりです。4つの活動とは、対話～仕事(学習)～遊び～催しですが、これらは、お互いに重なりあって行われるものでもあります。

例えば、仕事(学習)は、小グループのテーブルで行う個別学習(自分の時間割に従って行う自習)であっても、年長者が年少者に教えてあげる時、または、年少者が年長者に質問する時などには「対話」が生まれます。これはたまたまそうなっているというようなものではなく、それ自身が大変大切な「対話」の機会です。

また、イエナプランでは、企画されたゲームや遊びの中に「学習」した内容を確認するといった目的が潜んでいることもよくあります。モノを数える、掛け算や割り算などをする、戦略を練る、語彙を増やす、チームになって相談する、など、「遊び」には子どもの発達を促す様々な要素が豊富に含まれています。

「催し」は、4つの活動の中でも、最も総合的なものであるかもしれません。催しは、あるテーマで行ったワールドオリエンテーションの学びの成果を発表するという形を取ることもありますし、クラスの仲間と一緒に企画する演劇・音楽会などの形を取る場合もあります。そこには、企画段階でたくさんの対話や仕事が必要となります。同時に、催しを通して、なにか出し物を、学校の他の生徒や保護者たちに、楽しく「見てもらう」ためには、「遊び」の要素も大いに必要です。

これら4つの活動を、イエナプランナーたちは、人間の生活の4つの重要な要素なのだ、とよく言います。

全くそのとおりで、私たちは、人間として、この4つの活動をバランスよく交換させながら生活している時、最も充実感のある生活が実現できているのではないのでしょうか。私たちは、人間として、生活の中で、家族や友人、地域の人との対話、職場や家での仕事(または学び)、気分転換やリクリエーションのための遊び、そして、友人や仲間、地域の人達と感情を共有する、お祝い事や哀しみごと、お祭りなどを共にして、日々を生きています。どれかがひとつ欠けてしまうと、人の生活はなにか歪なものになってしまいます。

さて、そろそろこの記事のテーマですが、、、4つの活動のうち、仕事(学習)と催しのふたつは、日本の学校でも、まあまあ、学校の活動としては珍しくないものでしょう。イエナプランの学校を特に特徴付けているのは、サークル対話と遊びという二つの活動が、仕事(学習)や催しの他に、学校生活の中で、同じだけの比重を与えられていることです。そして、このサークル対話と遊びは、イエナプランの学校では、実に頻繁に行われます。

学校の一日は、サークル対話に始まり、サークル対話に終わり、実を言うと、その間に、2度も3度もサークルになってみんなで一緒に話し合う時間があります。



Photo:リヒテルズ直子

小グループで子どもたちに先生がインストラクションを与える時もサークルです。丸一日、登校から下校まで、いつも、大きな輪と小さな輪が、くり返しくり返し登場し、使われます。

子どもたちは、朝、学校に、なにかいいたいことを心にいっぴかかえてやって来ます。登校の途上で見つけたもの、前日に起こったこと、今日は何をしようかと考えていること、それを、わずか10分ほどのサークルで、言葉にし、クラスメートや先生と共有することができる、というだけで、子どもたちは、その後の時間、落ち着いて勉強に取り組むことができます。好奇心と感受性に満ちた子どもたちは、自分の感情が受け止められること、自分の言葉が誰かに聞かれることをとても求めています。わずか10分のサークルの時間は、そういう子どもたちの欲求を満たす大切な時間です。



ピースフルスクールでメディエーターの研修を受けることも達

同じように、下校時のサークルもとても大切なものです。

その日学校で起きたこと、そこで感じたこと、うれしい気持ち、悲しい気持ち、不満な気持ちを、クラスメートや先生と共有することで、学校の1日を安心して終わり、中途半端な感情を翌日に持ち越す必要がなくなります。

その他、一日の学校生活の合間に行われるサークル対話は、仕事(学習)の一部として、例えば、学習への動機付けをしたり、学習を企画したり、学習成果をお互いに共有したりするために使われます。

しかし、ベテランのイエナプランの先生になると、子どもたちの様子を見て、「ここだな」と思ったときに、さっと子どもたちをサークルにして集めることが良くあります。それは、子ども達がざわざわして学習に取り組めていないとき、何か、疲れているようで学習意欲が無くなっている時、子どもたちの間に揉め事があって雰囲気が悪くなっている時、などです。

そして、こういう時のサークルでは、チームの雰囲気を変えるために<遊び>がよく採用されます。サークルになって子ども達がみんな参加できる協働ゲームです。

ギスギスした雰囲気になっているときには、みんなでお腹の底から笑えるような遊びをします。アイスブレイクの遊びです。

注意力が散漫になっているときには、集中力を必要とする遊びをして、子どもたちにエネルギーを注ぎ込みます。

ひとつ、またひとつとサークルになってみんなで遊ぶ、また、サークルの席順を時々変えることで、クラスの中の誰とも心置きなく話せる関係を作れるようにしてやる、、、こういう毎日の繰り返しが、クラスの子どもの学びへの意欲を維持し、仲間意識に支えられた安定感と安心感の基礎となるのです。

## ★【リヒテルズ直子さんへのご質問・サークル対話実践談】を募集します。

オランダの教育・社会について、リヒテルズさんに聞いてみたいことはありませんか？

また、サークル対話を実践されている方々の、『こんな場でやってみたら良かった』『やってみただ、なかなか上手いかなかった』『こんなところが難しい/わからない。オランダではどうしてるの?』など、実践報告や感想、素朴な疑問などを教えていただけませんか？

みなさまの実践は、ニューズレター7月号にも、まとめてご紹介させて頂く予定です。

この機会に、日本での実践に関する情報や知識を共有し、会員のみなさまとサークル対話を日本でもっともっと広げていききっかけになれば嬉しいです。

実践談やご質問をお送り頂く際は、件名に「質問箱」「サークル対話実践談」とお書きの上  
[info@japanjenaplan.org](mailto:info@japanjenaplan.org) までお送り下さい。

※紙面の都合上、頂いたご報告やご質問をこちらで編集することがあることをご了承下さい。

皆さまからのお便りをお待ちしております。

# シリーズ ～サークル対話～



【シリーズ～サークル対話～】の第3回目を皆さまにお届け致します。どうぞ、ご自分の実践などと照らし合わせて、お読みください。日本でサークル対話を広め、盛り上げていくヒントがいっぱいです！

## サークル対話の進め方

リヒテルズ直子

この手引きは、サークル対話を進めるときの注意事項として、主に下記の参考資料をもとに記述したものです。筆者が日本の状況に照らして必要に応じて補足的な説明を施しています。ニュースレターでは4回に分けて、サークル対話についてシリーズをお届けします。

5回目(7月)号では、皆さんそれぞれの実践や経験(成功例や失敗談)をご紹介します。

- 1回目(3月):サークル対話をなぜするのか
- 2回目(4月):サークル対話にはどんなものがあるか
- 3回目(5月):サークル対話をうまく進めるための知恵と工夫
- 4回目(6月):サークル対話がうまくいかないのはどんな時?
- 5回目(7月):会員参加:サークル対話をやってみたら、、、?

参考資料(1～4回):

K.Both, "Jenaplan, Jenaplanonderwijs op weg naar de 21e eeuw", Nederlandse Jenaplan vereniging(NJPV), 1  
(ケース・ポット「イエナプラン、21世紀に向かうイエナプラン教育」オランダイエナプラン教育協会(NJPV))  
Ad W.Boes, "Gesprekken in de kring", Christelijk pedagogisch studiecentrum(CPS), ISBN 9065083049, pp.17-36  
(アド・W・ブース「サークルの中での対話」キリスト教教育研究センター)

## シリーズ第3回

### 3.【サークル対話をうまく進めるための知恵と工夫】

- サークル対話には、その時々状況に応じて、いくつかのルールが作られることを、子どもたち(参加者)が知っている。
- 教室の中に、いつでもすぐにサークル(円形、楕円形、または馬蹄形)を作る場がある。
- サークルの輪の中には、観察サークルの場合を除いて、何も置かない。(参加者が互いの顔を見ることができ、何かの陰に顔を隠したりできないことが重要)
- 子どもたちは、サークルを作った時に自分がどこに座るかをよく知っている(サークルの前に誰がだれの隣りに座るか、とか、押し合いへし合いすることで、嫌な雰囲気を生まないこと)。\*座る場所を変えたい時には、なにかルールを決めてゲーム感覚で座る場所を決めるという方法がある(誕生日の順、郵便番号の順、電話番号の順、虫歯の数、学校からの距離、などなど)

### 基本ルール

- 発言している人は他の人から邪魔されたり、話を途中で遮られたりしない。(他の参加者は発言者の言葉によく耳を傾ける)
- 発言者を決めるルールがある(一人の話がすんだ時に次に誰が話すかについてのルールを決めておく:手を挙げてリーダーの指示を待つ、話し終わったら次の人に何かを渡す、など)
- 発言者は多いほどよい。ただし、発言を求めている参加者の発言を強制しないこと。子どもの中には、心の中では対話をしているがまだ言葉に表せないでいる場合もある。

<理由>

- ◇そのクラスに入ってきてまだ日が浅く周りの様子を見ている。
- ◇テーマに関心が薄い。(すべての子どもがあるテーマに同じくらいの関心を寄せなくてはならないという理由はない!!)
- ◇これといった意見がない、経験がない、問いがない。

順番にすべての子どもに発言させるというのは、従来の学校ではよく行われてきたが、これは、子どもたちへの強制となり、自発性を封じ、受動的な子どもを育てるのでよくない。  
(\*自分から話さない子どもがいても、1年でも2年でも待ちましょう。そして、話をしない子どもも尊重しましょう。)

## グループ・リーダー（担任教員）の役割

グループ・リーダーはグループ全体を支配・管理するのではなく、サークル対話が進めやすいように支援するファシリテーター。そのために、グループ・リーダーは、サークル対話のテーマがその目的に沿って軌道からはずれずに話し合われているか、全体の様子をよく観察しながら、その場で、専門的に工夫を加える役割を負っています。

- 対話は、感情を交えず、ビジネスライクに、また、発言内容が、相互に関連付けられながら続けられているか。
- 対話が、信頼しあっている仲間同士のものとして行われ、すべての参加者が互いに尊重の態度でかわっているか。
- 対話は、何か方向を持って進められているか。この対話から何か新しいものを生み出そうとしているか（単なるおしゃべりではなく）。

1. テーマにそって話し合わせ、そこから派生的に出てくる話題が、相互に、また、元のテーマと関連付けられて話し合われているかどうか。
2. グループの雰囲気は、どの参加者をも積極的に対話に参加したくなるようなものかどうか。
3. 話し合いを始める前に、テーマによってリーダーとして設定した目標を可能な限り達成できるように準備する。
4. 何かについて参加者の理解が十分でない場合に、参加者全員がよく理解しているかを確かめているか。
5. テーマについて参加者の理解が深まるような問いかけをしているか。
6. その対話の目的に照らして、参加者が出した意見だけでは十分ではない場合、情報や知識を補足したり、まとめたりしているか。
7. 間違ったデータや知識が話題に上がっている場合、その誤りを正したり、正しいかどうかを確かめることによって、事実に対する誤解がもとで対話が、無駄な議論を生んだり困難な経過をたどることのないようにしているか。
8. 子どもからは期待できない意見や知識を、リーダー（経験の多い大人の参加者）として補足できているか。
9. 子どもたちが提出した問いに、答えを与える方法、答えを導く方法を示しているか。
10. 対話の途中で必要に応じて話の経過をまとめたり要約したりしているか。
11. 対話の途中で必要に応じて、発言のルールを思い出させているか。（サークル対話の秩序の維持）
12. 子どもたちに対して、サークルの中で発言しやすいような雰囲気をつくっているか。（励まし、遊びによる緊張の解放）
13. サークル対話の妨害になるような行為をする子に、その場ですぐに注意を促しているか。
14. 定期的に全体の様子を見渡しながら、対話が長引きすぎているかを観察しているか。
15. サークル対話の途中でも、参加者がじっくり考える時間、静かに試行する時間を設けているか。
16. 指導者として、よい模範例や子供の問いへの安易な「答え」を示して対話を終わるのではなく、参加者に対して、よい「問いかけ」をして終わる。







## ◆サークルでの【遊びの例】のご紹介◆

リヒテルズ直子

### サークルの並び方

サークルの並び方は、一定の期間は決めておいたほうがいいと思います。なぜなら、決まった席がないと、毎回押し合いへし合いで無駄な時間ができてしまうからです。

でも、しばらくしたら、並び方は変えたほうがいい。いつも同じ子の隣というのが習慣になると、「自立」心が育つのを妨げることがあるからです。

身長の間だとか、名前の間などというのではつまらないし、せつかなので、遊び心も兼ねて、色々な並び方を考えてみると思います。たとえば、、

- 誕生日の順
- 姓ではなく名前のアイウエオ順、または、アルファベット順
- 今の家に住んでいる期間の長さ
- 学校までの道のりの長さ
- 夜寝る時間の早い子から順に
- 早起きの子から順に
- 虫歯の数(乳歯が抜けた数)
- 髪の毛の長さ
- 小指の長さ(手の大きさ)
- 郵便番号の数の小さい方から
- 電話番号の数の小さい方から

子どもたちは、正しい順番になるように、ピーチクパーチクお互いに話し合い始めるはずですが。その様子を観察していると、どの子が良いリーダーシップを持っている子がよくわかります。言うまでもないとは思いますが、くれぐれも、何か「良い・悪い」「上手・下手」成績順というような、道徳的な基準のようなもので子どもたちを並べないようにしてください。

### キャッチ!!! (アイスブレイクの遊び)

1. サークルになって、あなたが最初に空想のボールを何回か宙に放り上げるジェスチャーをします。子どもたちが、それがどのくらい大きくてどのくらい重いか想像できるように。それから、そのボールをとなりに順に手渡していきましょう。

2. 今度はそのボールをサークルの中の誰かの名前を呼んで投げます。「〇〇ちゃん、キャッチ」というふうに。その子はまたほかのこの名前を読んでボールを投げます。

3. ボールがみんなに渡ったら、今度はちょっとおかしなものを投げて回しましょう。たとえば、卵、クリームがいっぱい乗ったケーキ、ほかほかのじゃがいも、風船、熟したトマト、、、(あ、でも危ないものは投げなで!!!)



## ★各支部より★

### ◇イベント開催のお知らせ◇

**千葉支部** [chiba@japanjenaplan.org](mailto:chiba@japanjenaplan.org)

『6月のイエナカフェ』

【日時】6/25(土) 14:00~16:30

【場所】浦安市民活動センター

<http://www.genki365.com/urayasushimin/static/center.html#08>

【お問合せ・お申込み】山田順子 090-9678-7230

2月に引き続き、イエナプラン20の原則後半(11~20)を読みます。

**福岡支部** [fukuoka@japanjenaplan.org](mailto:fukuoka@japanjenaplan.org)

『第2回イエナカフェ』～リヒテルズ直子さんを囲んで対話&ワークショップ～

【日時】5/29(日) 14:00~17:00

【場所】九州大学医学部百年講堂

<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/access/index.html>

【参加費】2,500円(税込) ※学生1,500円

【定員】10名(先着順)

【主催】日本イエナプラン教育協会

【お問合せ・お申込み】<http://kokucheese.com/event/index/11598/>

リヒテルズ直子さんを囲んでの対話や質疑を中心にイエナプラン教育についてもっと深く学び合いたいと思います。また、イエナプラン校で行われている小さなワークショップもして頂きます。贅沢で貴重な時間になること請け合いです。ぜひご参加下さい。

### ◇終了しました◇

『5月イエナカフェ(特別編)』5/21(土)『学び合い』東京定例会に参加

## ★ニュースレターへのご意見ご感想をお待ちしております。

より良いニュースレターの制作のためにも、みなさまのご意見ご感想を[info@japanjenaplan.org](mailto:info@japanjenaplan.org) までお寄せ下さい。心よりお待ちしております。

## ★各支部のご案内

東京支部 [info@japanjenaplan.org](mailto:info@japanjenaplan.org)

千葉支部 [chiba@japanjenaplan.org](mailto:chiba@japanjenaplan.org)

埼玉支部 [saitama@japanjenaplan.org](mailto:saitama@japanjenaplan.org)

京都支部 [kyoto@japanjenaplan.org](mailto:kyoto@japanjenaplan.org)

福岡支部 [fukuoka@japanjenaplan.org](mailto:fukuoka@japanjenaplan.org)

